RS_Base 設定方法

1．RS_Base に必要なファイルをコピーします

RS_Base は、1 台の PC だけでも使用できますが、ネットワーク上の複数の PC でクライアント／サーバ方式の運用も可能です。ここでサーバとは、RS_Base のデータを保存する PC という意味です。データは、ごく一部の設定ファイルを除きすべてサーバに保存されます。ネットワークの基礎的な知識があれば、設定は難しくありません。それぞれの PC に RS_Base を設定し、各々で簡単な設定をすれば使用できるようになります。

RS_Base を設定するには、DVD より

> Apache24（web サーバーソフト）
>
> usr(perl5 プログラム言語）
>
> Users¥rsn￥public_html（RS_Base プログラム本体）

を設定するドライブにコピーする必要があります。

C ドライブで設定する場合

① C:¥ Apache24_C

② C:¥usr

③ C:￥Users(ユーザー) ¥rsn￥public_html

D ドライブで設定する場合

①D:¥ Apache24_D

②D:¥usr

③D:￥Users¥rsn￥public_html

E ドライブで設定する場合

①E:¥ Apache24_E

②E:¥usr

③E:￥Users¥rsn￥public_html

となります。

※上記 3 つのファイルは同じドライブで設定しないと動作しませんので、設定の際はご注意ください。

Apache24

【手順 1】

DVD 内の「RS_Base ファイル」フォルダを開き、Apache24 をコピーします。

(※)Apache24 は RS_Base を設定するドライブによりファイルが違います。設定するドライブの Apache24 を利用してください。

C ドライブで設定する場合

「Apache24_C」フォルダを C ドライブへコピーをします。

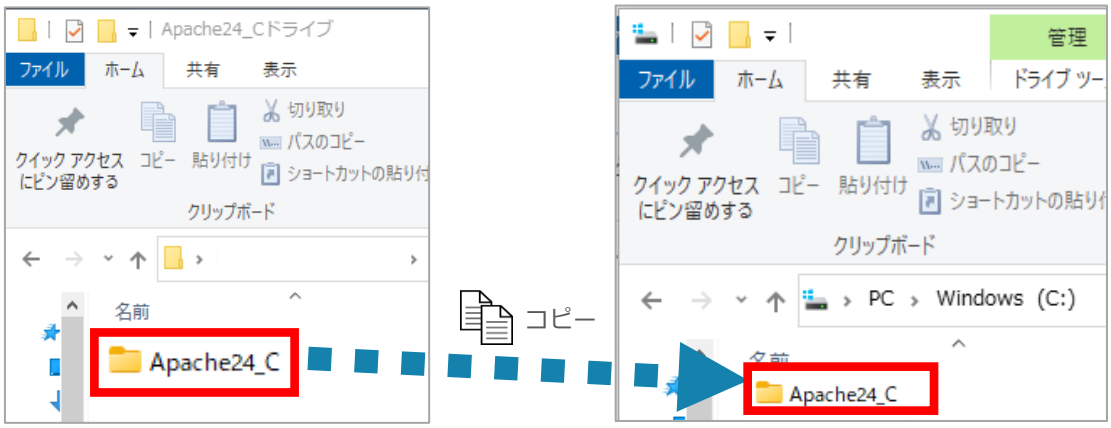
D ドライブで設定する場合

「Apache24_D」フォルダを D ドライブへコピーをします。

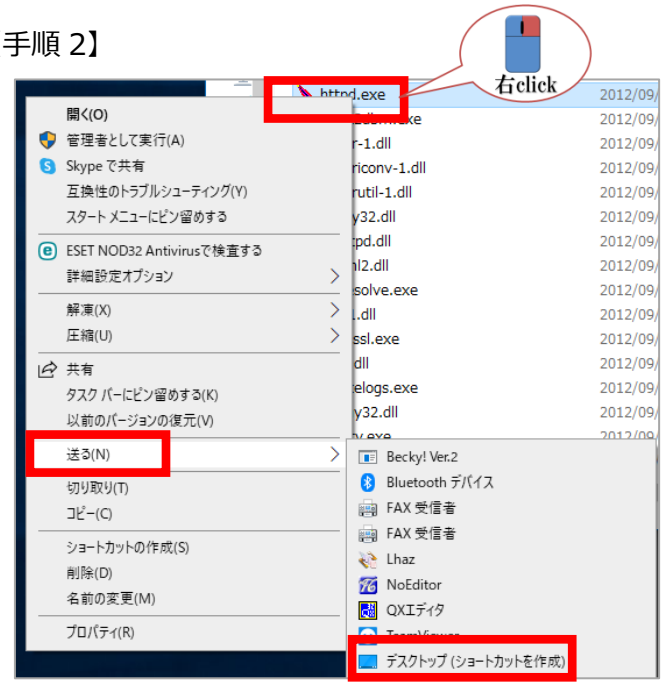
E ドライブで設定する場合

「Apache24_E」フォルダを E ドライブへコピーをします。

DVD 側　　パソコン側



【手順 2】

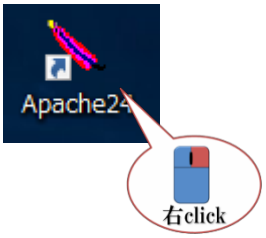


コピーした[Apache24]→[bin]の順にフォルダを開き、
[httpd.exe]をデスクトップにショートカットを作成します。

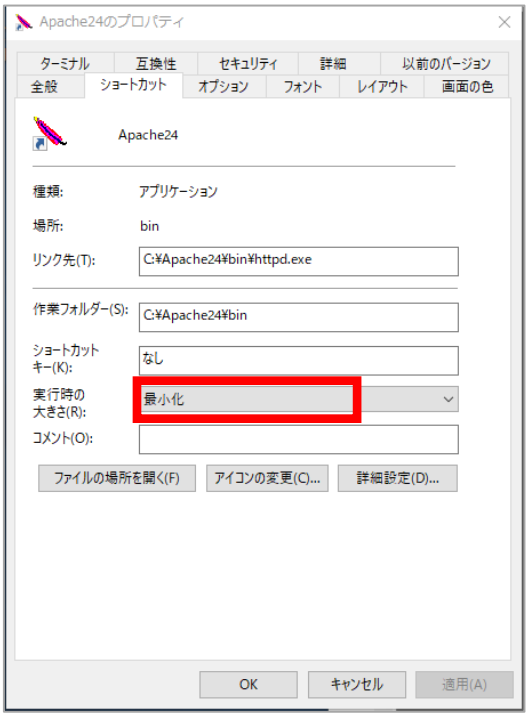
[httpd.exe]を右クリックし、表示されるメニューから
「送る」⇒デスクトップ(ショートカットを作成)の順にクリックすると作成されます。

※[httpd.exe]をショートカットしたら、ショートカット名を
「Apache24」にしていただくとわかりやすいです。
以下、「Apache24」で説明をさせていただきます。

【手順３】
デスクトップに作成したApache24(httpd.exeのショートカット)をスタートアップに登録します。



① スタートアップに登録する前に「Apache24(httpd.exeのショートカット)」の[実行時の画面の大きさ]を設定します。
「Apache24」ショートカットの上で右クリックし、プロパティを表示させます。



② ショートカットタブの［実行時の大きさ(R)：**最小化**］を 選択し、OK ボタンをクリックします。

③ スタートアップを開きます。

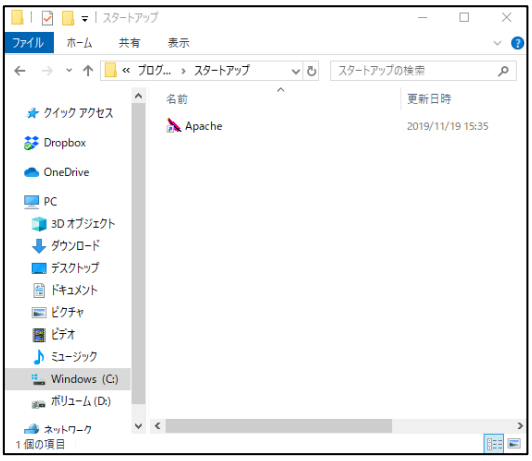
(windows10の場合)

C:/ユーザー(User)/ユーザー名/AppData/Roaming/Microsoft/Windows/Start Menu/Programs/Startup

にスタートアップがあります。

(windows7の場合)

Windows の画面左下にある［スタート］ボタンをクリックし、［すべてのプログラム(P)］へカーソルを移動
［スタートアップ］を選択したまま【右click】で［開く(O)］をクリックします。



④　開いた［スタートアップ］にApache24のショートカットのコピーを貼り付けます。

【手順４】

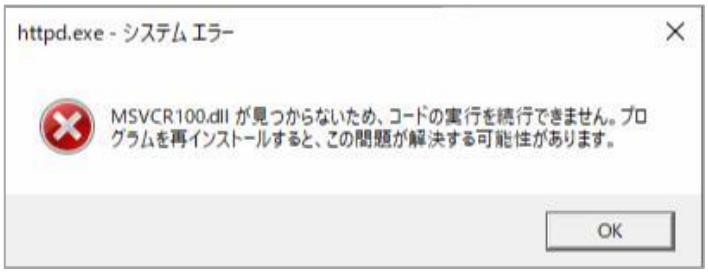
Apache24を起動します。（初回のみ）

ダブルクリックしてApache24を起動すると上記②で最小化に設定したので、Apache24はタスクバーに表示されます。

※【手順３】でApache24のショートカットをスタートアップに設定したので、次回よりパソコンを起動すると自動的にApacheが開きます。

【注意】

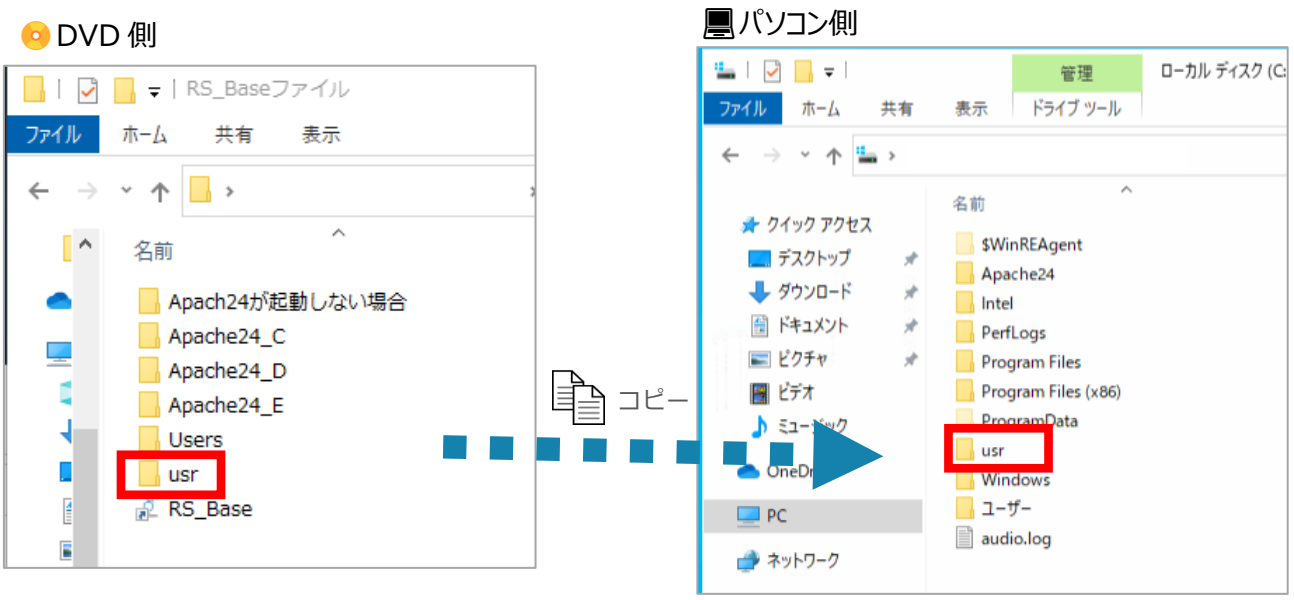
Apache24を起動した際に、「httpd.exe-システムエラー」が出てApache24が起動しない場合は、RS_Base設定ファイル内の「Apache24が起動しない場合」フォルダにある[vcredist_x86.exe]を実行後、Apache24を起動してください。



usr

DVD の「RS_Base ファイル」フォルダを開き、[usr]をドライブの直下にコピーをします。

※[usr]は各ドライブ共通です。



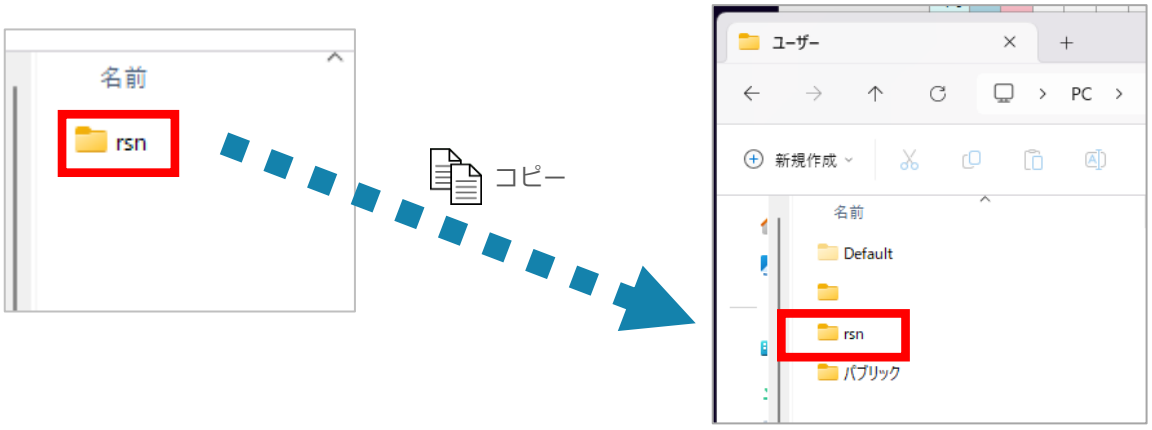
Users

C ドライブで設定する場合

C ドライブの Users（ユーザー）へコピーする場合、window7 以降の OS の場合は、 RS_Base が使用する C ドライブの「ユーザー」フォルダにアクセス制限がかかっているため、データコピー後にセキュリティを解除必要があります。この設定を行わないと、RS_Base が表示されません。

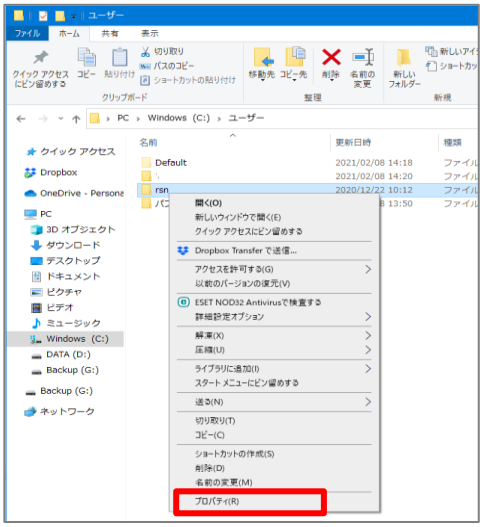
① USB の「RS_Base ファイル」にある[Users]フォルダを開きます。
「rsn」フォルダを C ドライブ→ユーザー(User)の順に開き、[rsn]フォルダをコピーします。

USB 側　　パソコン側

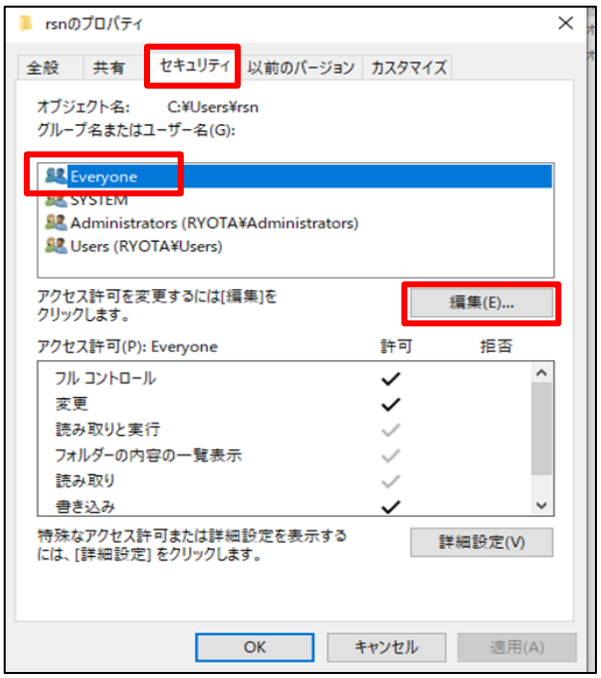


※「rsn」フォルダをコピーする際に〔このフォルダーへ移動するには管理者の権限が必要です〕と表示された場合は、
〔続行〕をクリックしてください。

コピー後は、rsn フォルダを右クリックし、「プロパティ」を開きます。

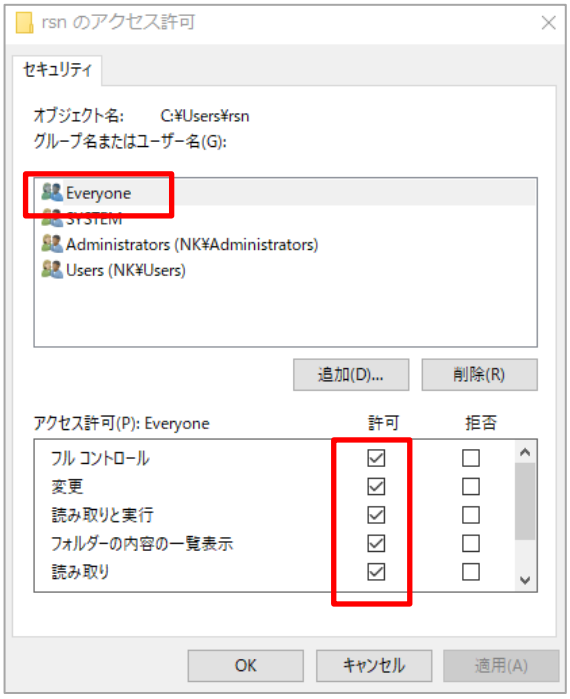


② [セキュリティ]タブ→[グループ名またはユーザー名(G)]の一覧の(Everyone)を選択し、【編集】をクリックします。



③ [グループ名またはユーザー名(G)]の一覧の(Everyone)を選択し、アクセス許可欄の全てにチェックをいれます。全てにチェックをいれた後は(フルコントロール)(変更)(書込み)などにチェックが入ります。

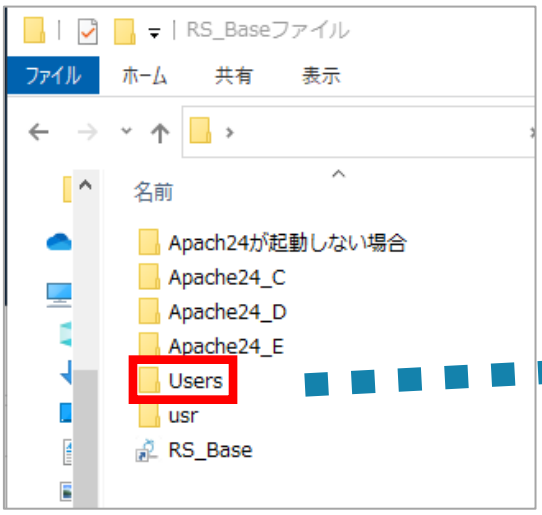
※Everyone がない場合は追加ボタンにて作成してください。



D ドライブ、E ドライブで設定する場合

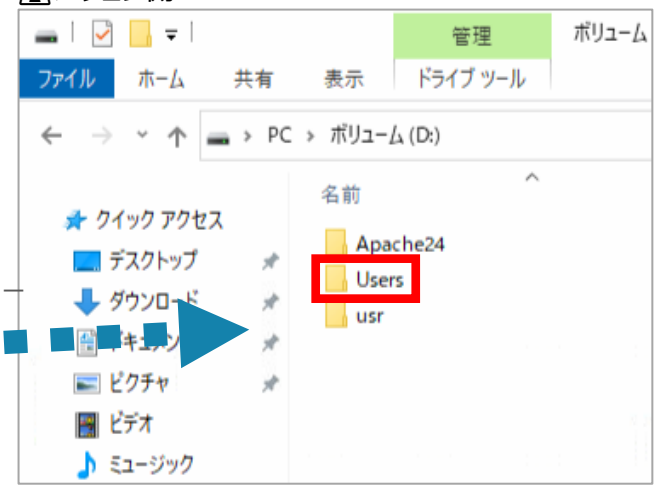
DVD の「RS_Base ファイル」にある[Users]フォルダを D ドライブまたは E ドライブへコピーします。

DVD 側



コピー

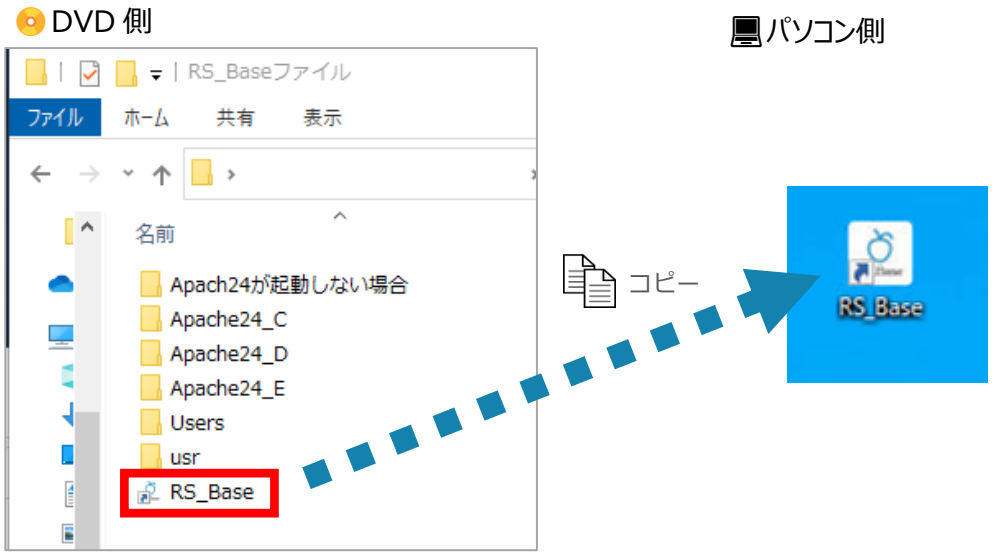
パソコン側



2． RS_Base を起動します。

【手順１】

DVD内のRS_Baseのショートカットをデスクトップにコピーします。



【手順2】

デスクトップにコピーしたRS_BaseショートカットをダブルクリックするとRS_Baseが起動します。

※Apache24が起動していないとRS_Baseは開きませんので、必ずApache24を起動してからRS_Baseを開いてください。

RS_Baseは、2017年より新しいデザイン(New画面)でのご提供を開始しております。

DVD内にあるRS_Baseショートカットは、（New画面）となっております。

従来の画面(旧画面)でRS_Baseをご利用頂く場合は、URLを**（http://localhost/~rsn/2000.cgi）**に変更し、ショートカットを作り直してください。

また、ショートカットをコピーしても、RS_Baseが開かない場合は、EdgeやChromeなどのブラウザを開き、New画面または従来画面いずれかのURLを直接入力し、ショートカットを作成してください。

【New画面】　http://localhost/~rsn/N2017.cgi

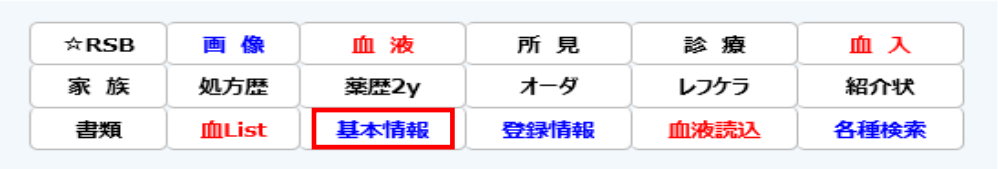
※New画面をお使いの場合は、上図「基本情報」をクリックし、(9)【画面表示方法】を「5」に設定してお使いください。（初期値は「5」に設定しています。）

【従来画面(旧画面)】　http://localhost/~rsn/2000.cgi

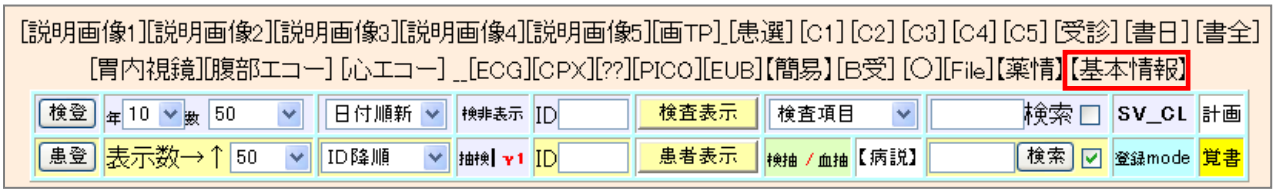
3．基本情報の設定

1．「RS_Base」の基本情報を開きます。

(New画面) http://localhost/~rsn/N2017.cgiでRS_Baseを利用の場合

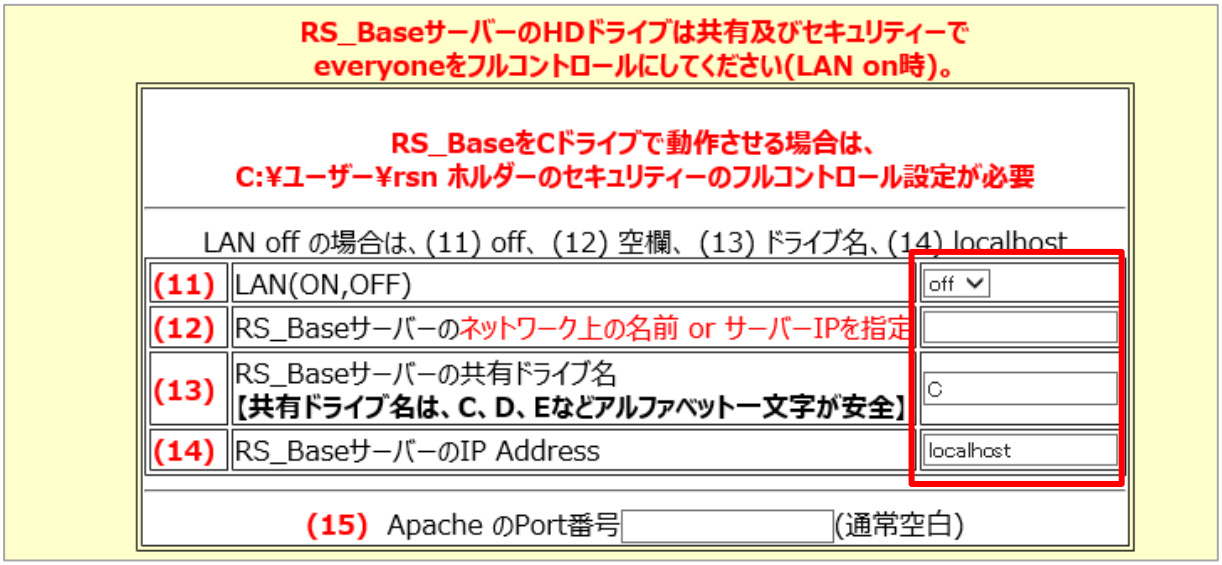


（旧画面）http://localhost/~rsn/2000.cgiでRS_Baseを利用の場合



2．「基本情報」画面が起動します。該当する番号に設定をしてください。

スタンドアローンの設定



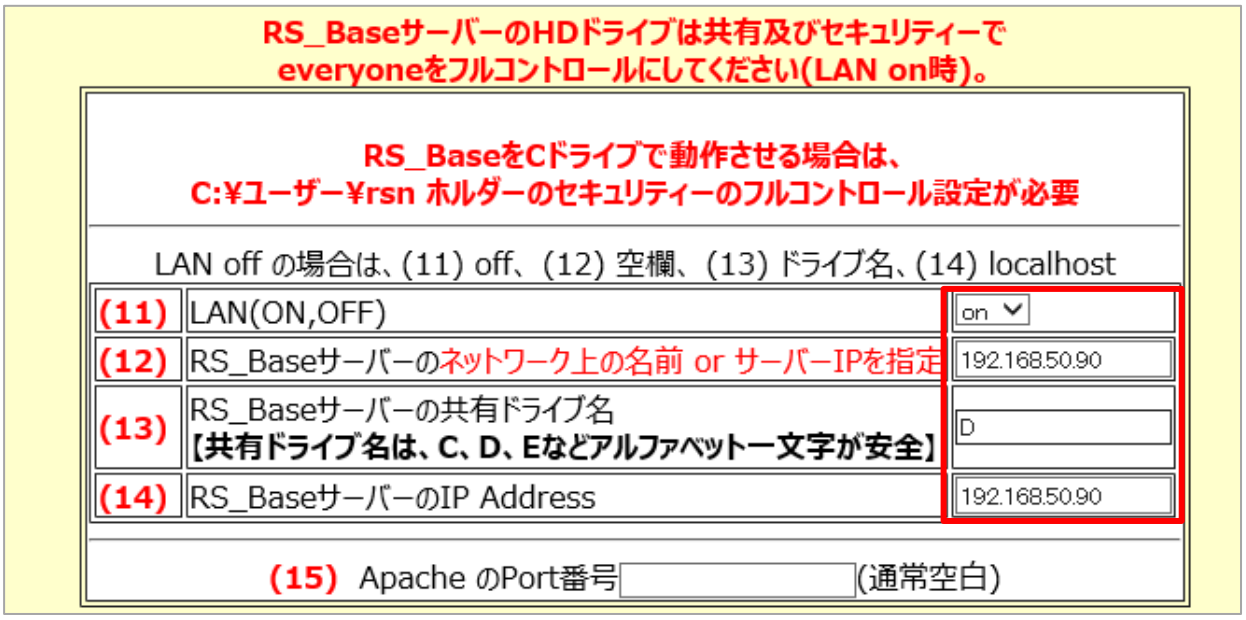
(11)＝OFF

(13)＝RS_Base を設定したドライブ名

(14)＝localhost

複数台での設定

（サーバの設定）



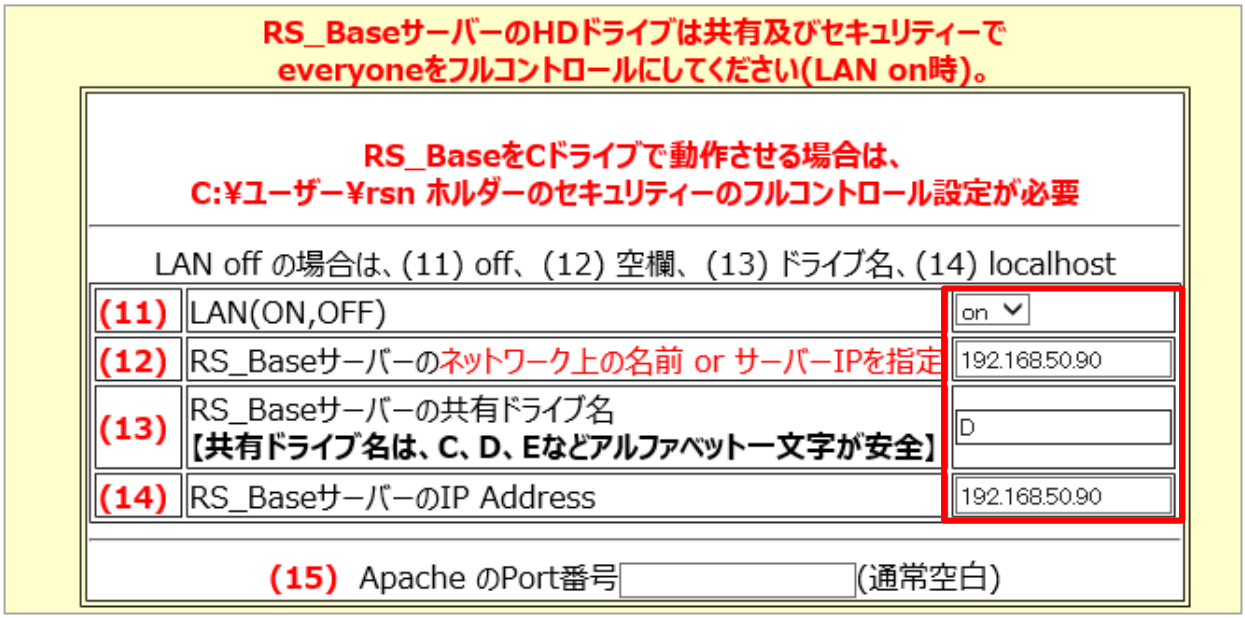
(11)＝ON

(12)＝RS_Baseサーバの PC の名前またはIPアドレス

(13)＝RS_Baseを設定したドライブ名

(14)＝RS_Baseサーバの IP アドレス

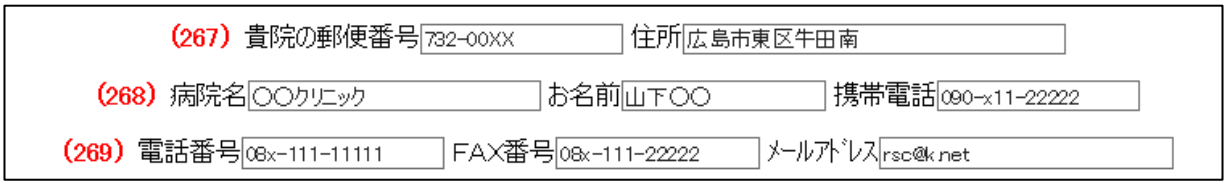
（ クライアントの設定）



※サーバでの設定と同じ設定にしてください。

病院情報の設定

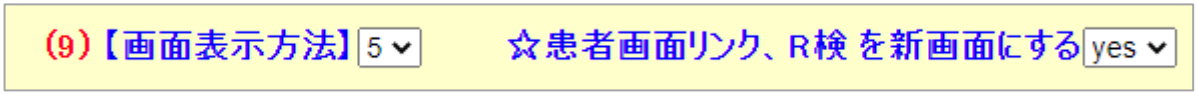
病院情報を登録します。



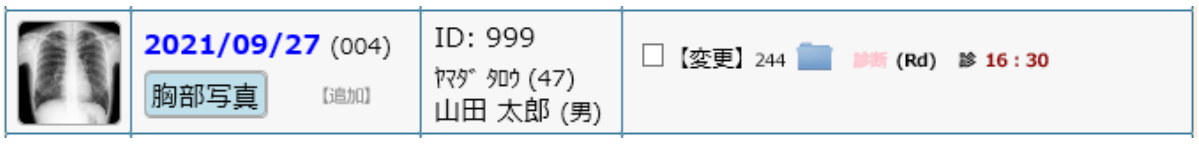
検査歴表示画面の設定

DVD で設定した場合、初期値は「5」、☆患者画面リンク、R 検を新画面にする「yes」になっています。

New 画面でご利用頂く場合は、下記設定でご利用をお願いします。



【画面表示方法】5　の場合



※従来の画面（旧画面）を使用している場合は、

上記の 【画面表示方法】 1 または 2　☆患者画面リンク、R 検を新画面にする　を　no　に変更してください。

以上で RS_Base の基本設定が完了です。

4．その他（ブラウザの設定）

2022 年 6 月より Internet Explorer が終了となります。RS_Base を利用する場合は、「Google Chrome」か「Microsoft Edge」でご使用ください。(ご利用のパソコンによっては、引き続き Internet Explorer での表示ができる場合があります。)

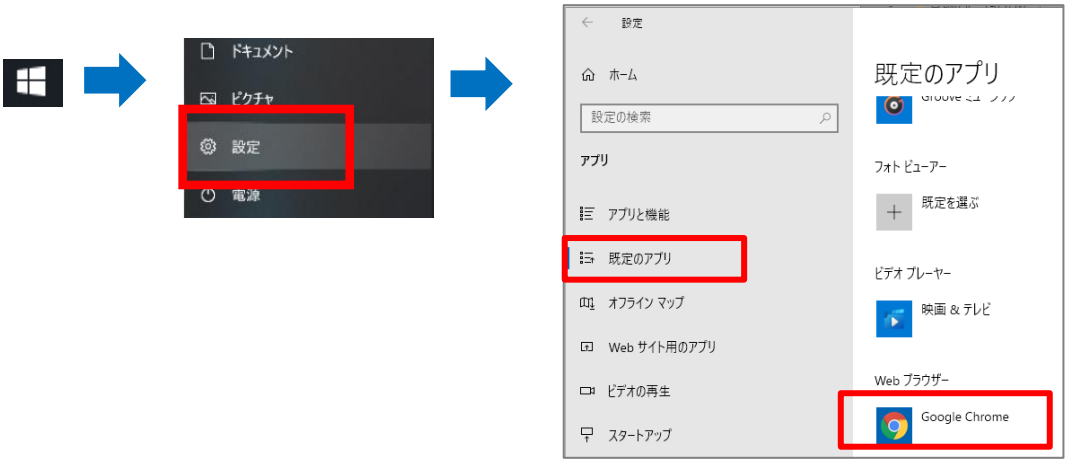
■Google chrome で RS_Base を利用する場合

1）既定のアプリの設定

Windows10以降は既定のアプリが「Microsoft　Edge」となっておりますので、既定のアプリを「Google chrome 」に設定をしてください。

※ご利用のWindowsのバージョンにより設定方法が違う場合があります。

【Windows10】

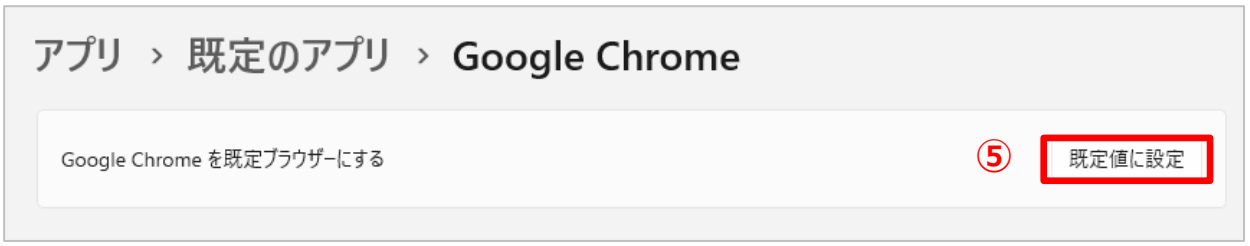


【Windows11】

1．①chrome の設定から②「設定」をクリックします。

2. ③「既定のブラウザ」をクリックし、④「デフォルトに設定」をクリックします。

3．Windows の設定画面が開くので、⑤「規定値に設定」をクリックします。



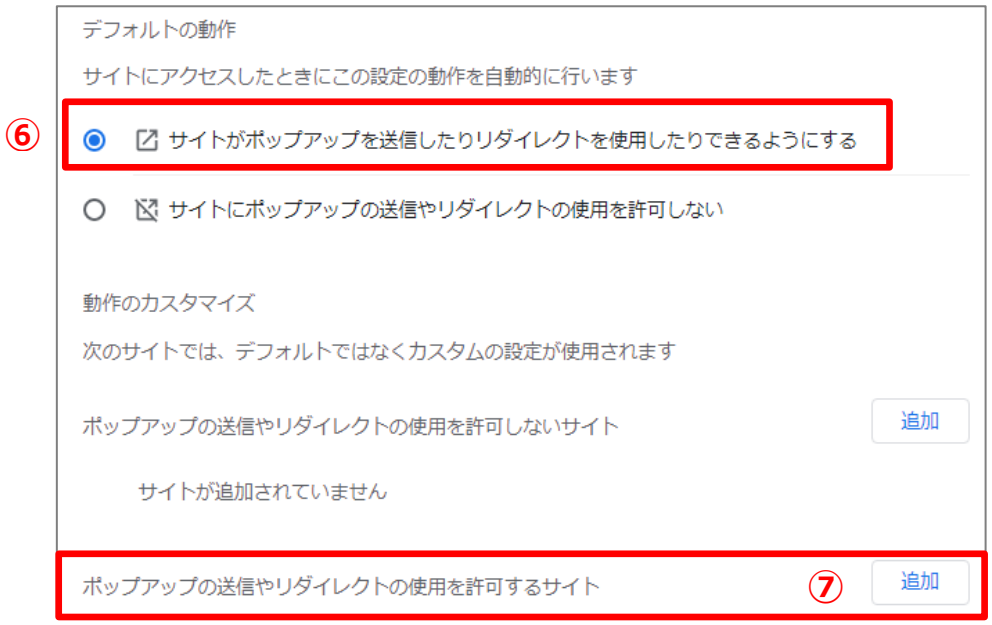
2）ポップアップブロックの解除

1. ①chrome の設定から②「設定」をクリックします。

2. ③プライバシーとセイキュリティ をクリックし、④「サイトの設定」をクリックします。

3. コンテンツ の ⑤「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。

4. ⑥「サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする」にチェック◉を入れます。
⑦ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイトの「追加」をクリックし、
[localhost]や[サーバ IP]を追加します。
（例） http://localhost
http://192.168.100.10（サーバ IP アドレスは施設により異なります）

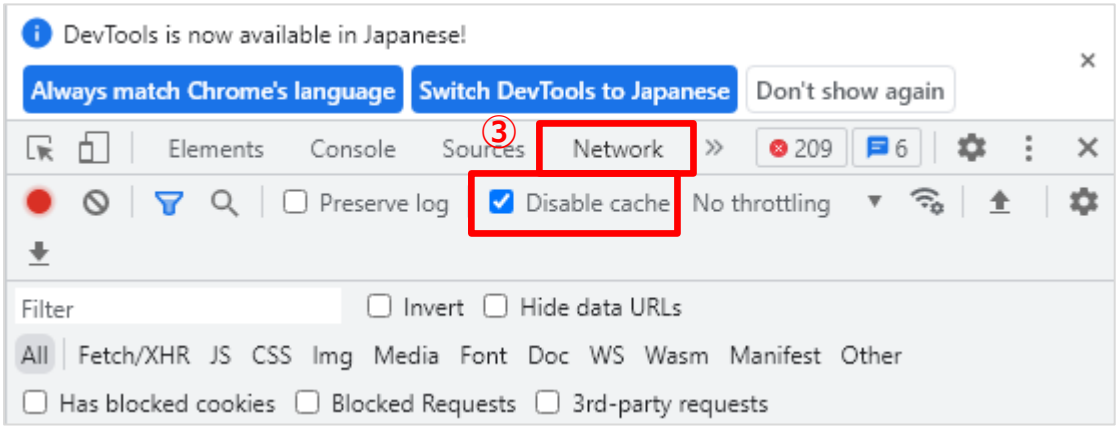


3）キャッシュの設定

1. ①chrome の設定から②「その他ツール」の「デベロッパーツール」をクリックします。

2. ③「Nerwork」タブをクリックし、☑「Disable cache」にチェックを入れます。

※日本語表記になっている場合、は「ネットワーク」タブをクリックし、☑「キャッシュを無効化」にチェックを入れます。

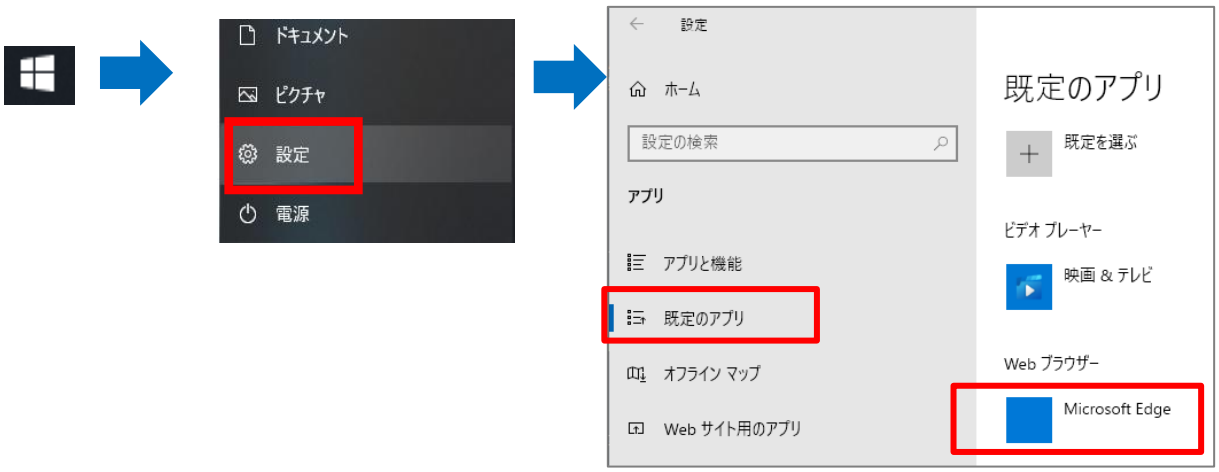


■Microsoft Edge で RS_Base を利用する場合

1）既定のアプリの設定

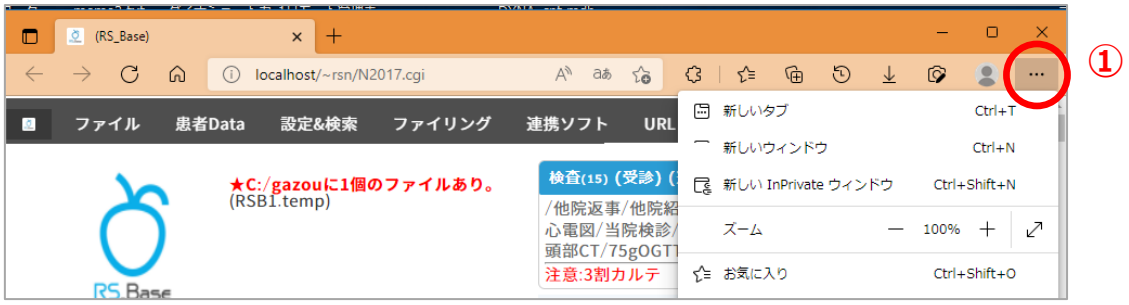
※Windows10 以降は、既定のアプリの初期値が「Microsoft　Edge」になっております。

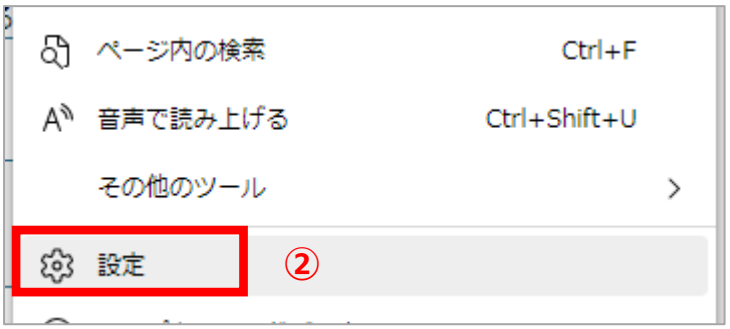
【Windows10】



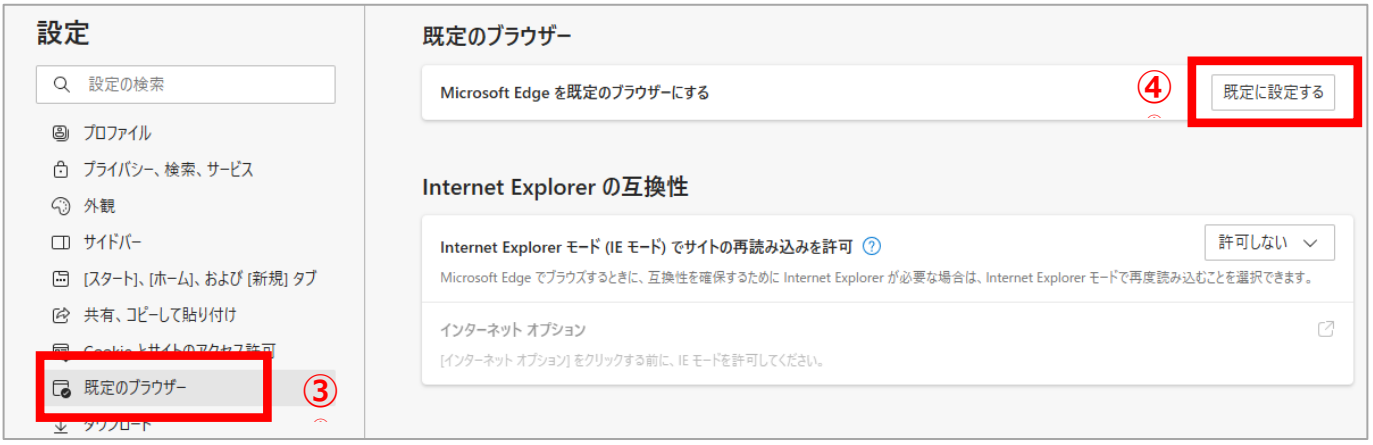
【Windows11】

1．①Edge の設定から②「設定」をクリックします。

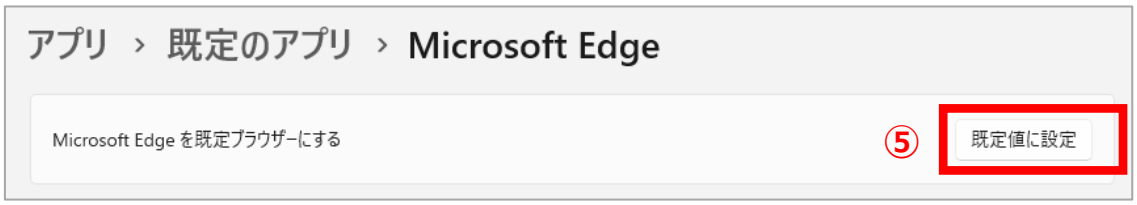




2．③「既定のブラウザー」をクリックし、④「既定に設定する」をクリックします。

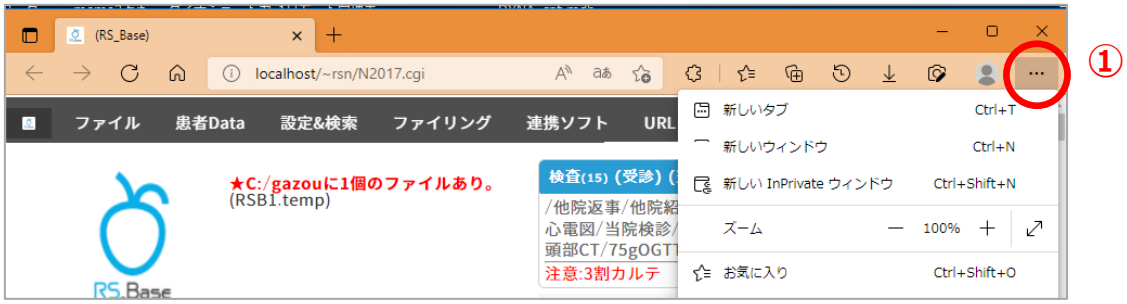


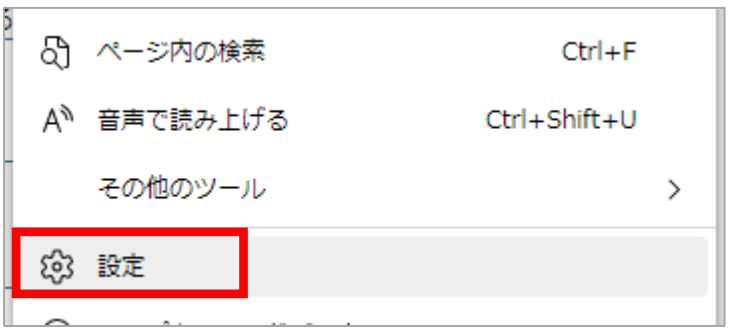
3．Windows の設定画面が開くので、⑤「既定値に設定」をクリックします。



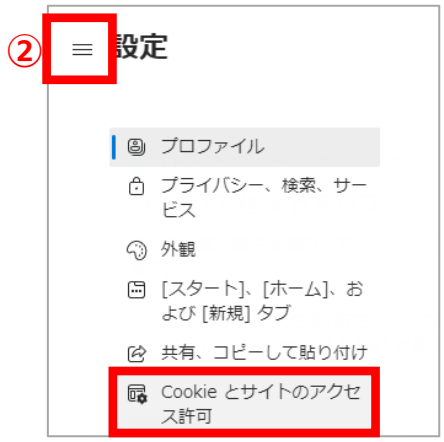
2）ポップアップブロックの解除

1．①Edge の設定から「設定」をクリックします。





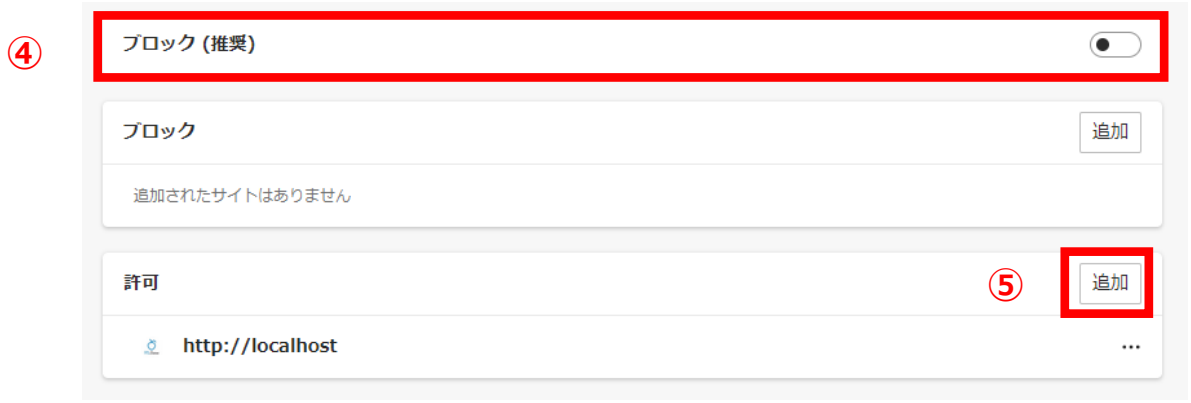
2．② 三 設定をクリックし、「Coolie とサイトのアクセス許可」をクリックします。



3．すべてのアクセス許可の③「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。

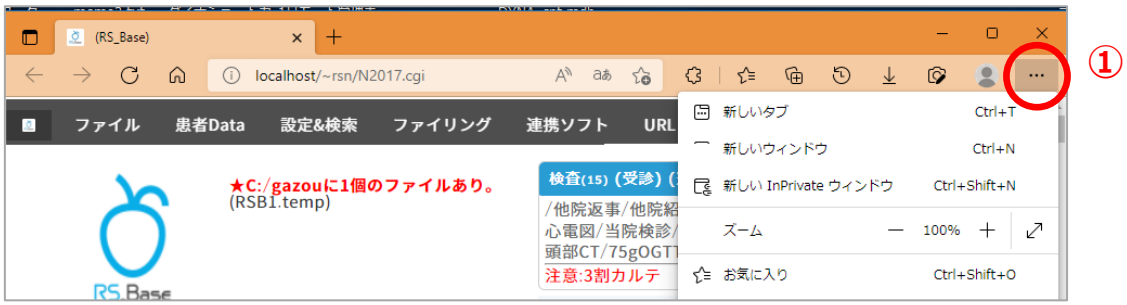
4．④ブロック（推奨）を OFF にするか ON のまま利用する場合は、⑤許可の「追加」をクリックし、
[localhost]や[サーバ IP]を追加します。

（例） http://localhost
http://192.168.100.10（サーバ IP アドレスは施設により異なります）

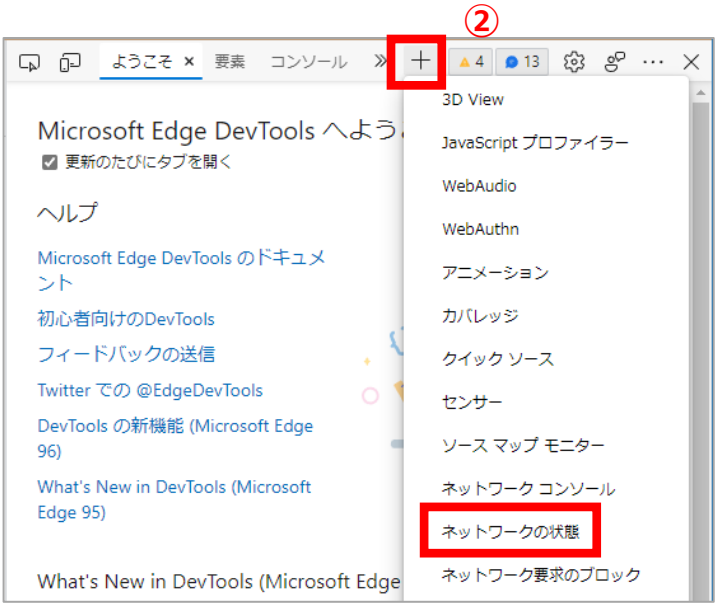


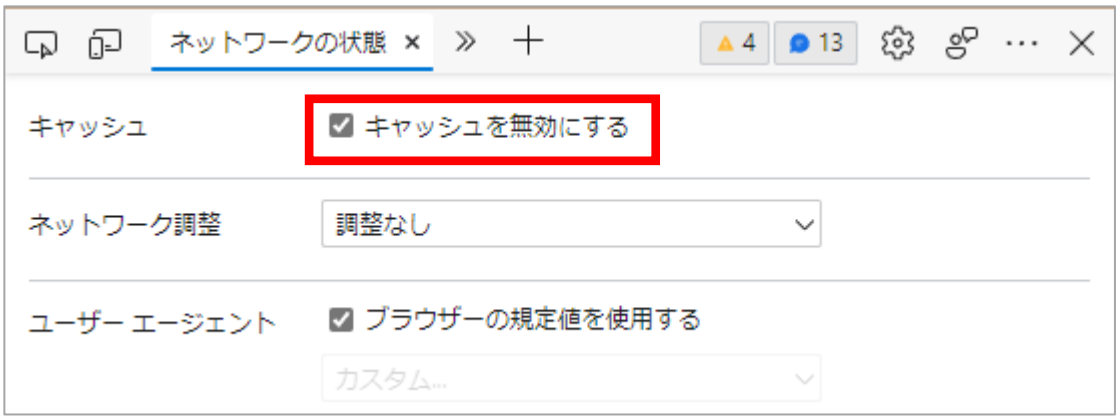
2）キャッシュ

1．①Edge の設定から「その他ツール」クリックし、「開発者ツール」をクリックします。



2．②＋ をクリックし、「ネットワークの状態」を選択し、キャッシュを無効にするにチェック☑を入れてください。

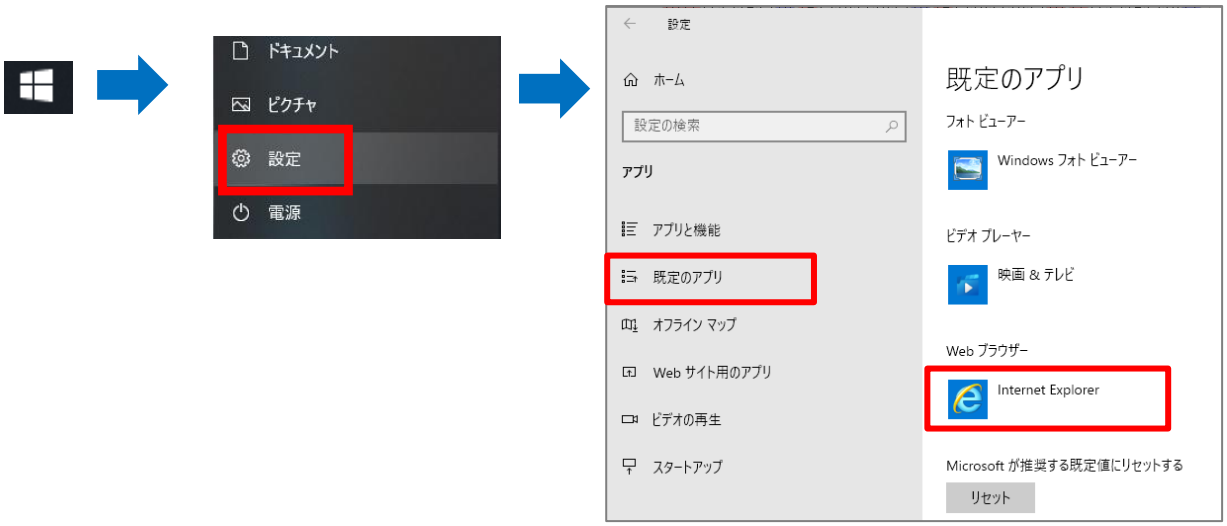



ネットワークの状態
4
13
キャッシュ
キャッシュを無効にする
ネットワーク調整
調整なし
ユーザー エージェント
ブラウザーの規定値を使用する
カスタム...

■Internet Explorer で RS_Base を利用する場合

1）既定のアプリの設定

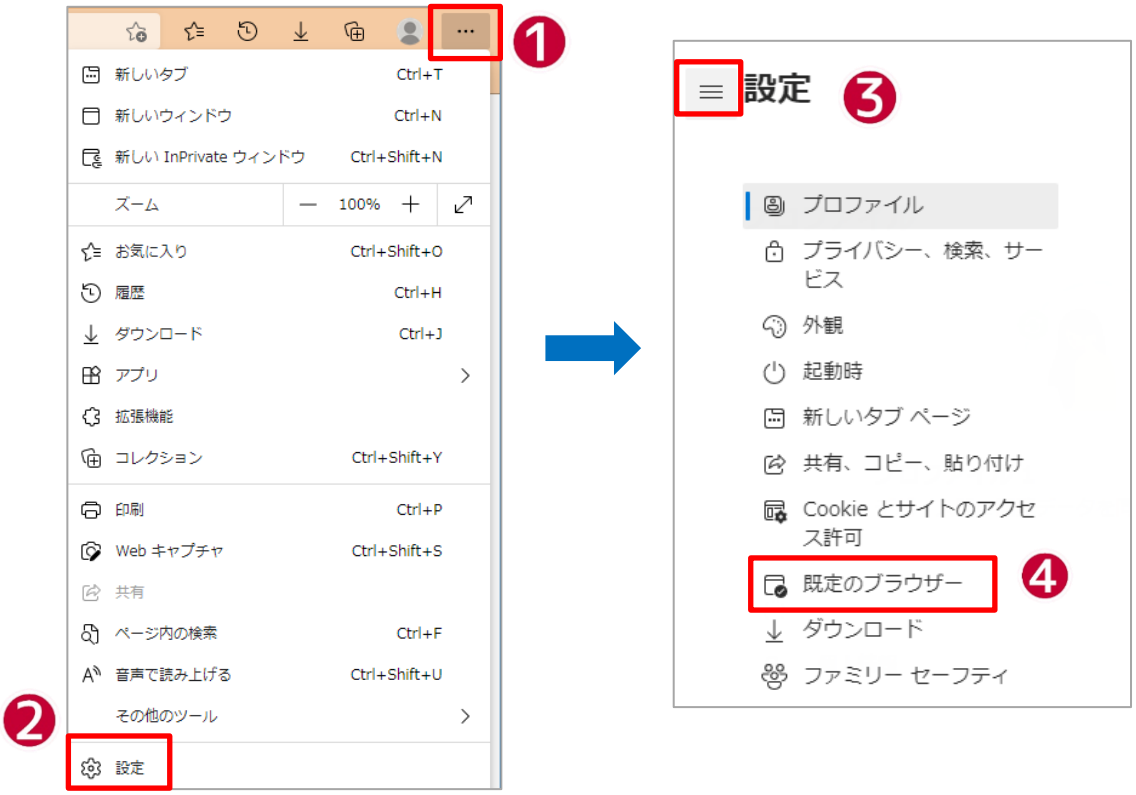
Windows10では既定のアプリが「Microsoft　Edge」となっておりますので、既定のアプリを「Internet Explorer 」に設定をしてください。



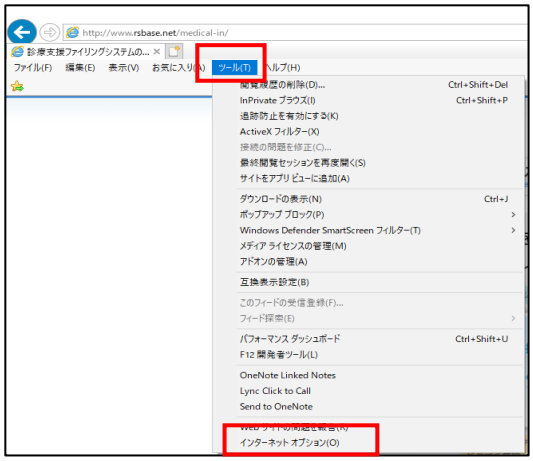
※Windows10のバージョンにより、下記のEdgeの設定が必要な場合があります。

上記１でInternet Explorer で設定してもEdgeで開く場合は、下記の設定をお願いします。

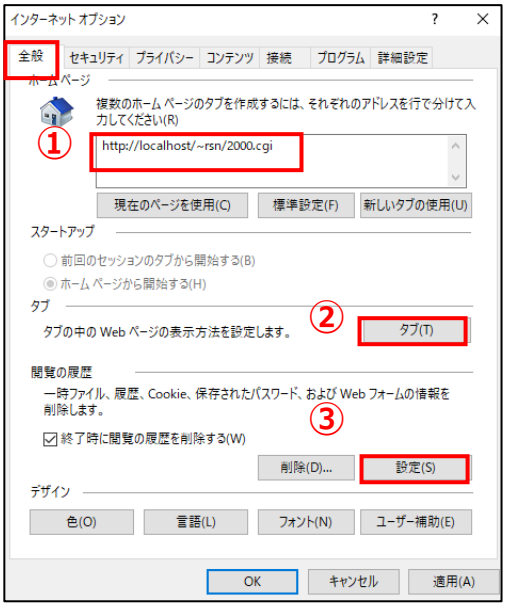
1. Edgeを開き、右上の①[･･･]から②設定をクリックし、設定画面を開きます。
2. ③[三]から④既定のブラウザーを選択します。
3. ⑤Internet Explorer にMicrosoft　Edgeでサイトを開かせるで[なし]を選択します。



既定のブラウザー
Microsoft Edge を既定のブラウザーにする
既定に設定する
Internet Explorer の互換性
Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる
Internet Explorer でブラウズするときに、Microsoft Edge でサイトを自動的に開くように選択できます
❺
なし
Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可
Microsoft Edge でブラウズするときに、互換性を確保するために Internet Explorer が必要な場合は、Internet Explorer モードで再度読み込むことを選択できます。



1． Internet Explorer(以下 IE)の［ツール(T)］クリックし［インターネット オプション(O)］を選択します。

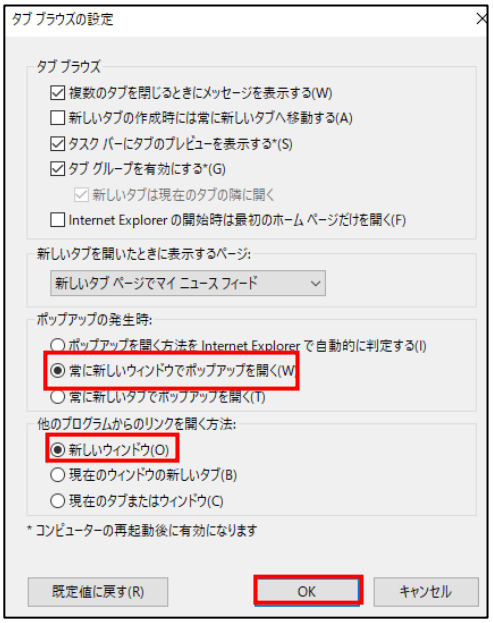


2． インターネット オプションの全般タブを選択し、

①RS_Base を InternetExploer を表示した際の初期画面　にする場合は、http://サーバIPアドレス/~rsn/2000.cgi と入力します。

※New画面をご利用の場合は、

http://サーバIPアドレス/~rsn/N2017.cgi となります。

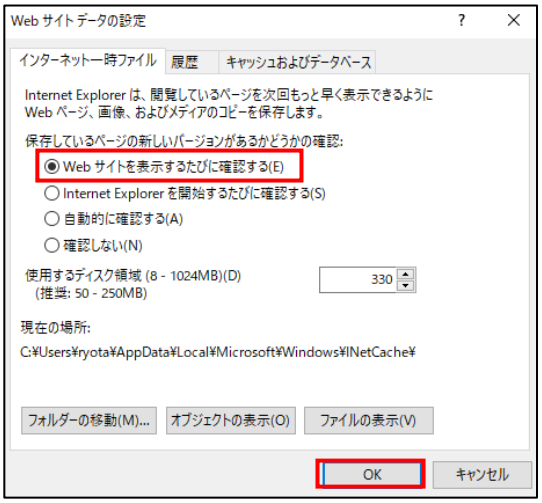


②タブの設定

ポップアップの発生時を、常に新しいウィンドウでポップアップを開く　にチェック。

他のプログラムからのリンクを開く方法を、新しいウィンドウにチェック。

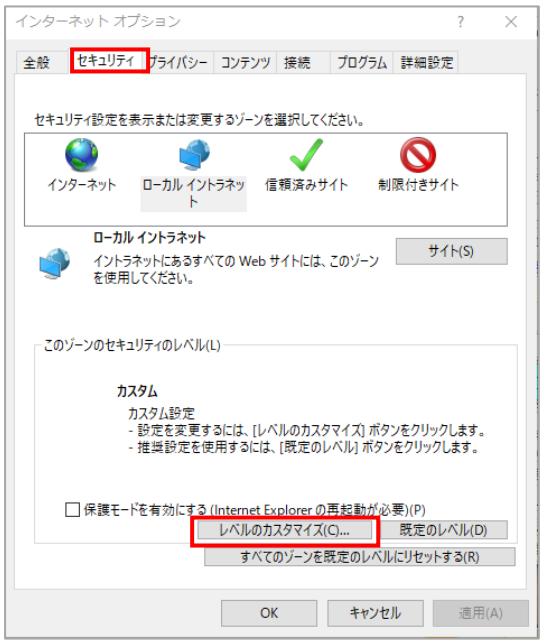
設定後、OK ボタンをクリックします。



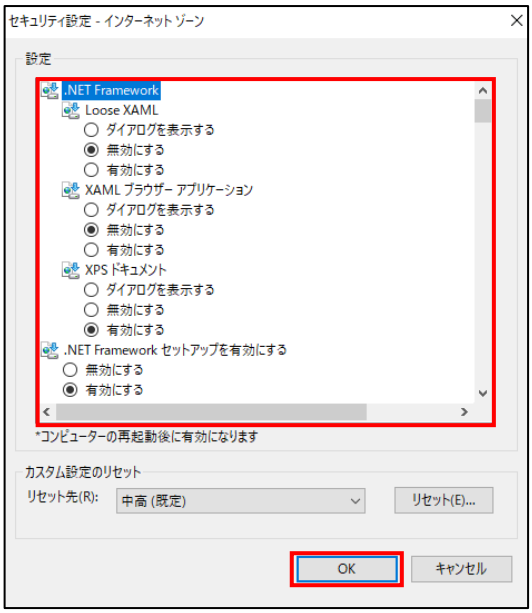
③閲覧の履歴

インターネット一時ファイルと履歴の設定のインターネット一時ファイル内の［Web サイトを表示するたびに確認する(E)］にチェック。

設定後、OK ボタンをクリックします。



3．インターネット オプションのセキュリティタブを選択し、インターネット／ローカル イントラネット／信頼済みサイトのいずれかを選択し、(RS_Base の表示されている環境に合わせて設定します。)［レベルのカスタマイズ(C)…］ボタンをクリックします。



以下の項目にチェックを入れてください。

・外部メディアプレーヤーを使用しない web ページのビデオやアニメーションを表示する
【有効にする】にチェック

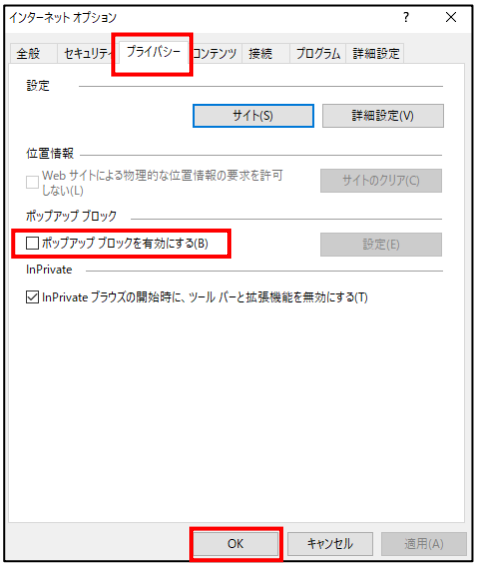
・スクリプトによる貼り付けを許可
【有効にする】にチェック

・サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する
【有効にする】にチェック

・ポップアップ ブロックの使用
【無効にする】にチェック

設定後、OK ボタンをクリックします。

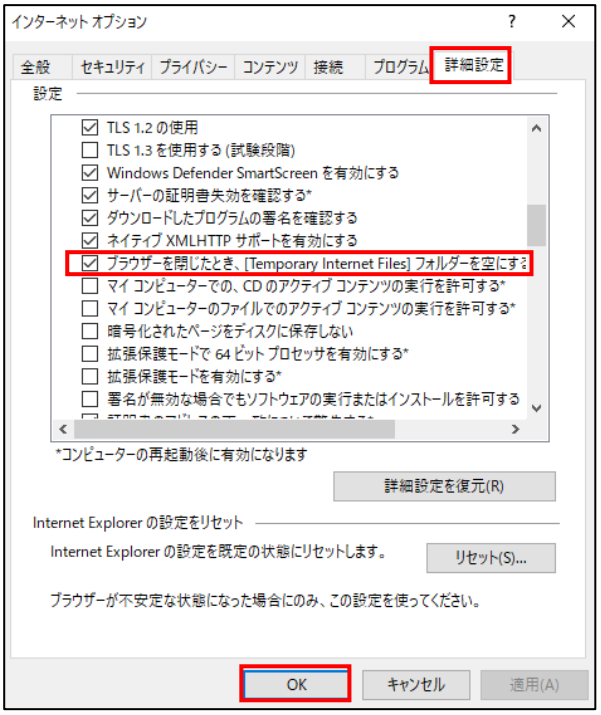
・信頼済みサイトに登録をして信頼済みサイトの［レベルのカスタマイズ(C)…］を変更することをおすすめします。



4．プライバシータブを選択し、

ポップアップ ブロックを有効にする(B)の チェックを外します。

設定後、OK ボタンをクリックします。



5．詳細設定タブを選択し、

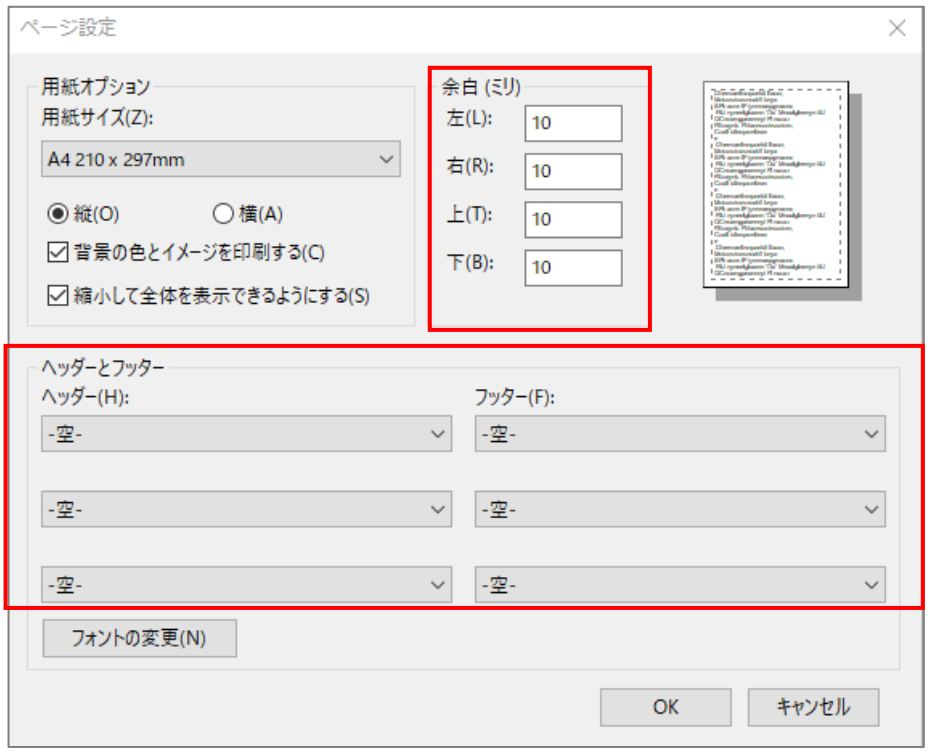
ブラウザを閉じたとき、[TemporaryFiles]フォルダーを空にする にチェック を入れ、

OK ボタンをクリックし、インターネット オプションを終了します。

6. Internetexplorer のページ設定を行います。

1．Internetexplorer のファイルの「ページ設定」を開きます。

ページ設定の余白を「10」に

ヘッダーとフッターを「－空－」に設定をしてください。

※余白は、メディカルインでは「10」で設定をしています。